

昭和48年1月13日第三種郵便認可  
HSK通巻522号  
発行日/2015年9月10日(毎月10日発行)  
編集人/白老町手をつなぐ育成会 佐藤春光  
北海道白老郡白老町字萩野 310-110  
TEL (0144) 83-3537

HSK

会報/228  
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)  
定価/1部100円(会費に含む)

2015. 9月号

# ほほえみ



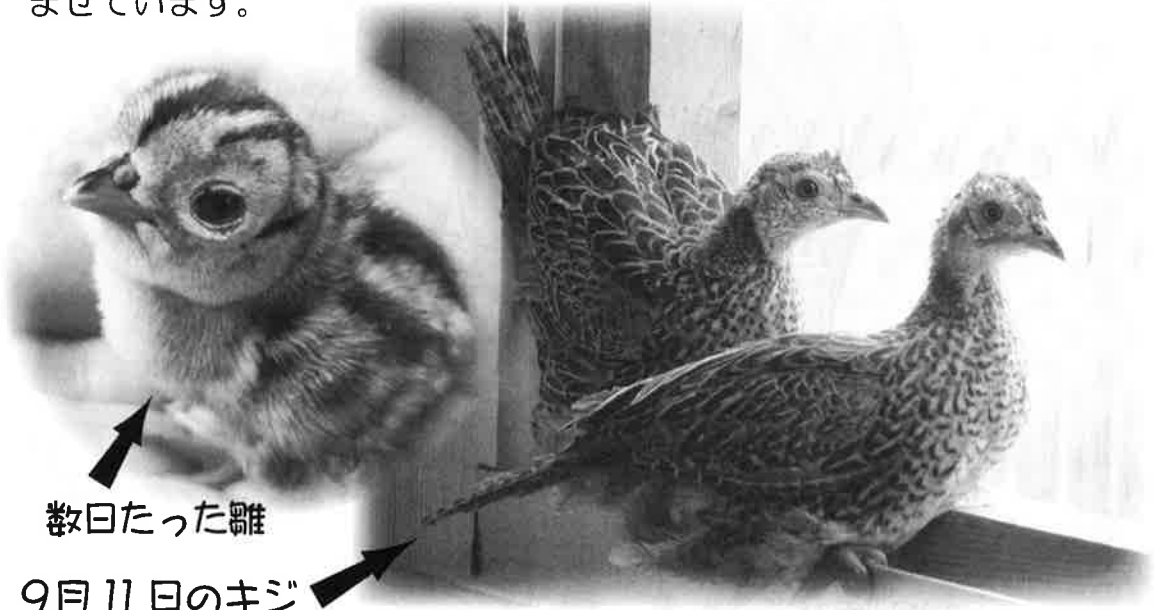
白老町手をつなぐ育成会

# キジを飼っています

7月25日に萩野地区の緑泉郷で草刈り作業をしていた高齢者事業団の職員が、巢の中でふ化寸前の卵を発見、家に持ち帰って。風呂のふたの上に置いたところ次の日に卵から雛がかえっていたというのです。そこで、鳥獣保護員の堀さんに預けられ段ボールの中で育てられました。

この貴重なキジをフロンティアで育てたいと思い、関係する白老町と胆振振興局に問い合わせたところ、飼ってもよいという事になりました。飼いは鶏と同じようにもみがらとEMほかしを敷きEM菌を散布した5畳間位の小屋で育てる事にしましたのです。びっくりしたのはキジは3週間ぐらいで飛ぶことができるという事です。野生の鳥のたくましさには驚かされます。

これからの楽しみは雄と雌が何羽ずつなのかです。できれば来年卵を産んだらふ化させ、たくさん増やしてキジ園など創れたら等と夢を膨らませていきます。



数日たった雛

9月11日のキジ

## ついでに熊 →

この頃白老でも熊の出没ニュースがあります。特に今年は何度かありました。この熊は堀さんが罾で捕まえた熊です。



# トラクターを購入できました

後援会員で農業をやっている、追分の長澤さん、厚真の佐藤さん、壮瞥の南さんに声をかけてトラクターをさがしてもらいました。厚真のヤンマーに良い機械があるということで長澤さんの案内で見に行ってきました。冷暖房付きのとっても良いトラクターでしたので買うことにしました。主に虎杖浜の(株)ナチュラルサイエンスさんの畑で使用することになるので、とっても心苦しかったのですがご支援をお願いしました。すると購入費用の全額を寄付していただけることになりました。これからこのトラ

クターがたくさん活躍してくれると思います。再度(株)ナチュラルサイエンスさんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

旧虎杖中の横に1 ha くらいの空

き地がありました。そこに捨てられていたガラクタを整理し、プラウで土を少し掘り起こし、タイヤショベルを使って大きな石拾いをしました。それから全面積に10センチくらい火山灰を客土し、トラクターで再度起こして小石を拾い、堆肥をまいて再度トラクターで起こし、畝を作って大根などの種をまきました。今年は収穫するのではなく、秋にそのまま漉き込んで少しでも土壌改良できればと考えているのです。この畑は農薬は一切使わず、化学肥料も使わない、有機農場にする予定です。

また、畑は4分割し連作の問題が起きないように間に道を作りました。アイヌ民族博物館からは稗の栽培も要請されています。これから本格的な農業が始まりそうです。楽しみです。



ふろんていあ♡メール

Frontier

就労支援施設  
フロンティア♡MAIL

2015年9月号

〒059-0922  
白老町萩野 310-110  
TEL・FAX0144-83-3537

## ホープ初の大運動会 パート2



今月19日(土) 待ちに待った大運動会が、始まります～!

フロンティア白老は、3チーム。フロンティア登別1チーム。

全部で4チームに分かれてやります。

競技の種目は、玉入れ・パン食い競争・借り物競走・

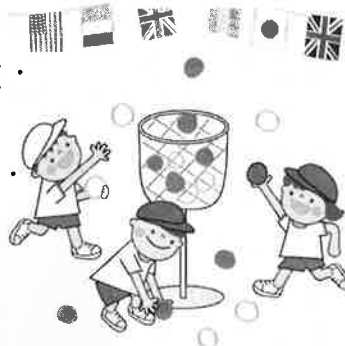
綱引き・水差し競争の4種目です。

どのような運動会になるか凄く楽しみでもあり……

ドキドキでもあります。

保護者の人達も集まり賑やかな運動会になること

間違いなし!!!



## ホープ初の大運動会 パート3!!!

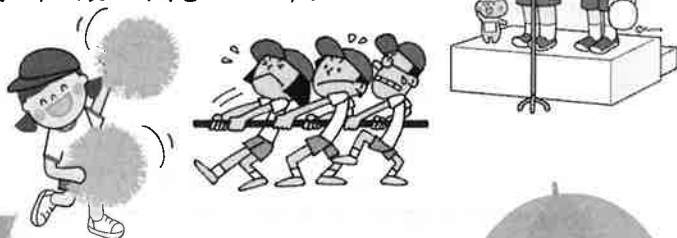
いよいよ あと数日、10日(木) 各班にわかれ 応援の練習をしました。

みんな見られないように各部屋に入って、大きな声を出して頑張っていました。

恥ずかしいよ～♪♪

みんなの前に出て、3分間程度の応援合戦をします。

凄く力が入っています。



## リハビリ祭は 雨の外販でした

9月13日(日)に、ひさしぶりのリハビリ祭がありました。

あいにくの天気でしたが、参加でき、職員の方々から元気をもらい、外販も手伝って頂きました。ありがとうございました。



# 行ってきました「親子ふれあい療育キャンプ!!」

感想を書いていただきました。

今月の5日（土）恵庭のえこりん村にいきました。アルパカ・羊・馬等の動物が居て、その中で羊のえさやりを体験しました。

トマトの木も凄かったです。

6日（日）は、講演を聞きました。自立の難しさを改めて感じました。また機会がありましたら参加したいです。 Kさん



出発式です



えこりん村受付で記念写真です



すごく可愛くてパチリ



「アルパカソフト」  
おいしかった～!!



工けをあげて、楽しかった



2日目「障がい者の自立に必要な力とは」  
講演があり、すごく勉強になりました



1日目「今も親に求められること」  
勉強会がありました。

いきいきと楽しく働く場をめざして

2015年9月号

# フロンティア登別通信

F059-0463

登別市中登別町88-2

TEL/FAX

0143-83-7878

## フロンティア登別 障害者スロープ改良工事完了

秋晴れの9月8日(火)に札幌にて大友福祉振興財団の助成金交付承認書の贈呈式に出席してきました。3月に立派な建物は立ったものの建物の周辺は凸凹で地域の会社の援助で砂利を提供していただき自分たちで砂利を敷いたり、お手製のゴムマットなどで車椅子の乗降場を作りなんとか車椅子の出入りなどを行っていましたが、かねてより応募していた大友福祉振興財団の助成が決定され、めでたくフロンティア登別のスロープ、玄関前が舗装されることになりました。早速、次の日から工事が始まり、15日に工事が完了し写真の様に車いすでも自由に動ける環境が整備されました。今回の助成決定にあたっては大友福祉振興財団さんには現地まで来ていただきフロンティア登別の現状の聞き取りや現場を視察していただきました。実情を理解して助成いただいたことに心から感謝申し上げます。



登別市若葉町内会様より卓球台と卓球台一式をいただいたので早速、昼休みに舗装したての広場で卓球を楽しみます。若葉町内会様ありがとうございました。

白老産エゾシカ肉を使った新商品「鹿ぎようぞ」と「鹿バーガー」



## 「鹿ぎようぞ」いかが

登別あすハンバーガー発売

【登別】中登別町の障害者就労継続支援施設・フロンティア登別(山田大樹施設長)が、白老産エゾシカ肉を使った商品開発の第2弾として、肉のうまみを包み込んだ冷凍キョーザ「鹿ぎようぞ」を発売した。併設のカフェでは10日から、第1弾商品のシカ肉ハンバーグを玄米パンに挟んだ「鹿バーガー」も販売する。鹿ぎようぞは、白老町周辺の猟師が仕留めたシカ肉

と、キャベツやニラなどの野菜が食材。市内企業の「望月製麺所」が製造する遺産小麦100%の皮を使用し、18個人り800円で8月20日から販売している。同施設は、第1弾商品として6月に冷凍ハンバーグ「鹿バーグ」を発売しているが、鹿ぎようぞは、ハンバーグよりも肉質の柔らかい部位を使った。山田施設長は「シカ肉特有の香りを抑え、食べやす

くした。皮もモチモチ」とPRする。

イベント限定で提供してきた鹿バーガー(350円)も今月10日から、施設併設のカフェウポポで販売する(持ち帰りのみ)。系列のパン工房「茶連慈」で焼く玄米パンを用い、目玉焼きには白老町産の放し飼いの鶏卵を使つたなど素材にこだわった。

問い合わせはフロンティア登別 ☎0143・833・7878へ。

(石川泰士)



## HSK ほほえみ

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可  
発行日 2015年9月10日発行(毎月10日発行)  
HSK通巻番号522号  
編集人/北海道白老郡白老町字萩野310-110  
白老町手をつなぐ育成会 佐藤 春光  
TEL 0144-83-3537  
会報/228号  
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)  
定価/1部100円(会費に含む)